

DIGITAL FOREST

最新のWebサイト評価でアクセス数大幅200%アップ！ 集客・売上に直結するWebサイト構築講座

～ アクセスアップからブランディング、売上アップを実現するWebサイトトータル設計を習得！～

株式会社デジタルフォレスト

前野有美

2005/7/20

DIGITAL FOREST

目次

1. Webサイトを成功させるためには

- Webサイト評価とは
- 何を改善するのか
- Webサイト構築で必須の3要素

2. 成功するWebサイトとは

- ユーザから高い評価を受けるWebサイトとは？
- ユーザに支持されるWebサイト5箇条
- こんなWebサイトでは成功できない
- 成功するために必須なのは顧客経験最適化
- 参考:パッケージソフトにおける人間中心設計の考え方
- 参考:パッケージソフトにおいてなぜ人間中心設計が重要なのか？
- 参考:デザイナー(開発者)とユーザの入出力モデル

3. ハイブリッド・エバリュエーションとは

- ハイブリッド・エバリュエーションの特徴
- 企業Webサイトにおけるハイブリッド・エバリュエーションの活用
- ハイブリッド・エバリュエーション手法
- 参考:ヒューリスティック評価とは
- 参考:ユーザビリティテスト(ウォークスルー法)とは
- Webマーケティングソリューション「Visionalist」の紹介とデモンストレーション
- 各評価手法で何ができるか
- 各評価手法のメリットとデメリット
- ユーザビリティテストにおけるVisionalistの活用
- ユーザビリティテストにおけるVisionalist活用のメリット

DIGITAL FOREST

目次

4. 実践！ Webサイト評価

- 問題点抽出の視点
- 例題---問題点抽出からビジュアルレベルの改善案策定まで
- Eビジネス加速戦略における、アクセス解析を活用した、Webサイト継続的改善プログラム

5. サイト評価を念頭に置いたWebサイト構築

- Webサイト構築の際の問題
- 人間中心設計によるWebサイト構築手法
- 評価 / 分析を取り入れたWeb構築ワークフロー
- マーケティング要件定義の重要性
- ユーザビリティテストとの連携
- 重要な役割を果たすWebサイト評価

6. サイト評価から効率的な改善を行うには？

- 改善の視点
- Webサイトにおける 劇的！ビフォー・アフター
- パッケージソフトにおける 劇的！ビフォー・アフター
- 改修効果の測定
- ユーザビリティテストの投資対効果(ROI)

DIGITAL FOREST

Webサイトを成功させるためには

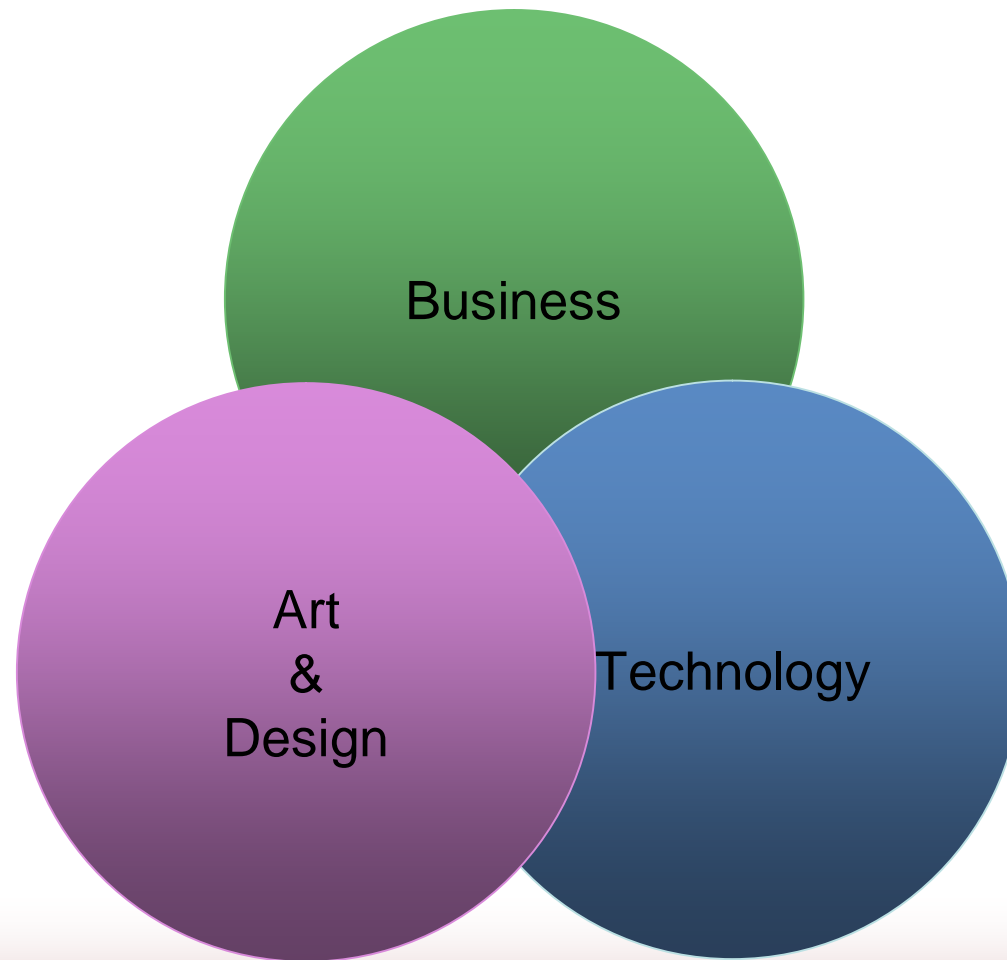
Webサイトを構築する際、盛り込む内容や施策の全てには、**何故そうするか**の確かな理由がなければならない。そして、Webサイトが機能し始めたら、**どのように効果を上げているのか**を理解することが非常に重要である。

---それをしないなら、単なる時間と金の浪費である。

Hurol Inan in *Measuring the Success of your Web site*

DIGITAL FOREST

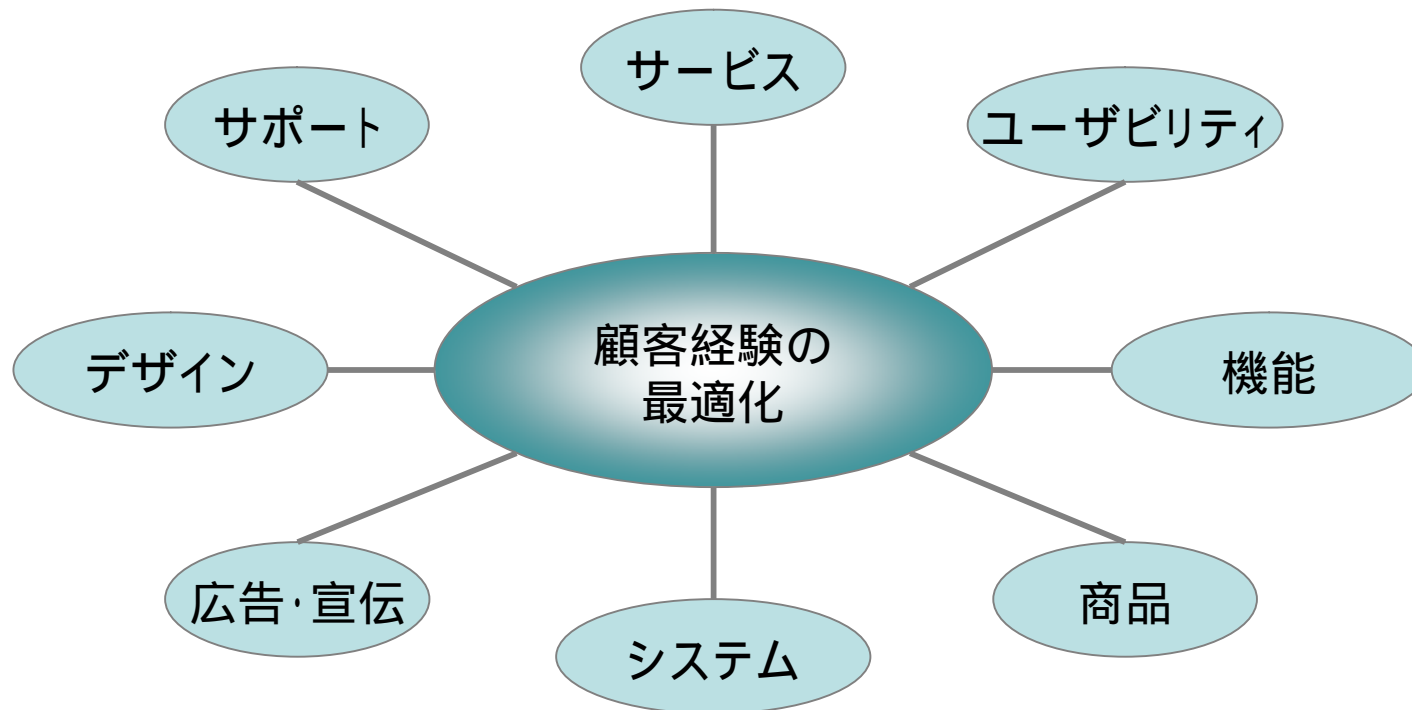
Webサイト構築で必須の3要素



DIGITAL FOREST

成功するために必須なのは顧客経験の最適化

■ 誰のため？何のため？を考えればおのずと答えは出る



成功するサイト = 人間中心設計

DIGITAL FOREST

参考: パッケージソフトにおける人間中心設計の考え方

- 人間工学---「ソフトウェア人間工学」あるいは「認知人間工学」と呼ばれる研究領域
- 人間工学とは、「人間が使うものに対する設計」に関する学問
- 「ソフトウェア人間工学」とは、特に、人間-コンピュータシステムのソフトウェアインタフェースを扱う学問
- 「認知人間工学」は、人間の入力系、特に記憶や判断のプロセスとからんだ処理を扱う

DIGITAL FOREST

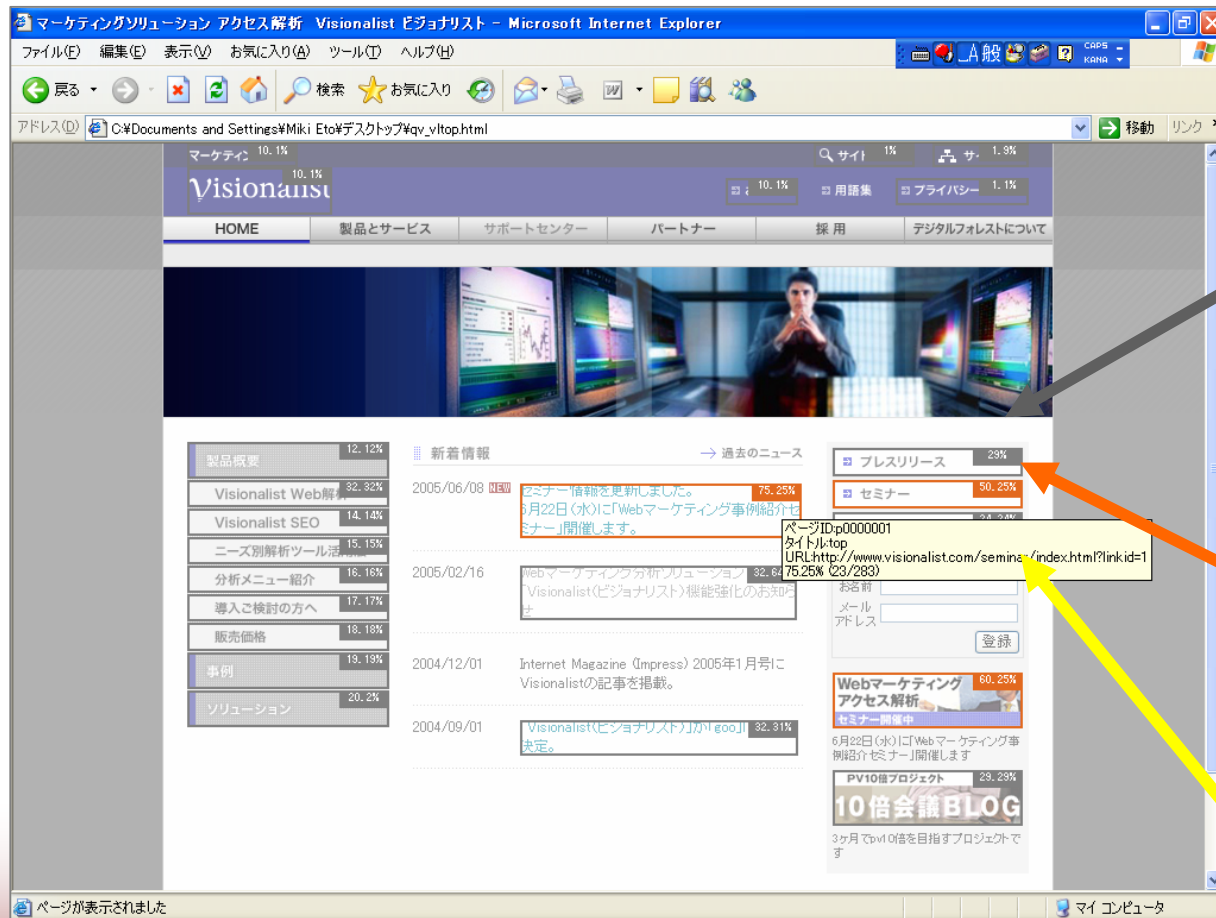
ハイブリッド・エバリュエーションの特徴

サイトの目標 / 目的に照らして、
評価手法や評価項目を設定し、
定性的 / 定量的にWebサイトを分析 / 評価

DIGITAL FOREST

ユーザビリティテストにおけるVisionalistの活用

クリック・アット・グランス ; リンク設置位置の効果を測定可能。



クリックが少ない
リンクは灰色

クリックが多いリンク
はオレンジ色

リンク先のページ内容
詳細表示

DIGITAL FOREST

ユーザビリティテストにおけるVisionalistの活用のメリット

- 被験者のクリックストリームの記録をVisionalistが代行してくれるので、ユーザビリティ・エンジニアの負荷が軽減される。
- 一度に複数名のテスト実施が可能になる。
- Visionalistの統計値 / レポート画面が活用できるため、レポート作成の時間が大幅に削減できる。

DIGITAL FOREST

Webサイト構築の際の問題

戦略構築

それぞれが別々に作業を推進
必ずしも最適なWeb開発が実現されないケースが多い
(各作業主体間でコンフリクトが発生)

インタ
フェース
開発

システム
開発

DIGITAL FOREST

ユーザビリティテストの投資対効果 (ROI)

Nielsen Norman Group Report: Usability Return on Investment

ウェブサイト再デザインの過程でユーザビリティを測定した事例 42 件のデータを分析した結果、これらの測定値を平均すると、ユーザビリティの向上率は 135 % となった。全体の平均から言うと、プロジェクト予算の約 10 % をユーザビリティ活動に回せばユーザビリティは 2 倍になることが明らかになった。

ユーザビリティのメリットはコストをはるかに上回るから、将来的にユーザビリティに回される予算は増大するだろうと予測される。少なくとも大企業ではそうなるはずだ。今のところは、プロジェクト予算の 10% をユーザビリティに使うよう薦めているが、数年のうちには、理想的な ROI のために、20 % か、またはそれ以上の予算が求められるようになるだろう。

(ヤコブ・ニールセン / <http://www.usability.gr.jp/alertbox/20030107.html>)

測定指標	平均改善率
売り上げ / コンバージョン率	100%
トラフィック / 訪問者数	150%
ユーザ目標達成 / 生産性	161%
特定機能の利用率	202%

DIGITAL FOREST

ご清聴ありがとうございました

資料・内容等に関するお問い合わせは下記までお願いいたします

株式会社デジタルフォレスト
ビジネス・ソリューション・グループ マネージャ 前野有美
〒102-0083 千代田区麹町5-7秀和紀尾井町TBRビル9階
Tel:03-3511-4659 Fax:03-3511-4660
ymaeno@digitalforest.co.jp www.digitalforest.co.jp